

## 米国・キューバの友好関係の確立は、何を意味するか

12月17日、バラク・オバマ米国大統領、ラウル・カストロ、キューバ国家評議会議長は、前日の16日電話会談を行い、両政府は、国交回復を進めることで合意したと発表しました。1961年1月にアイゼンハワー政権が一方的に国交を断絶して以来、途絶えていた両国関係が54年ぶりに復活することになります。

この米国の外交の新たな転換である国交回復は、米国内外の世論の要求が高まり、米州大陸で米国を除き、カナダと中南米・カリブ海



国交回復の交渉を発表するカストロ議長（左）オバマ大統領（右）

諸国共同体(CELAC)の33カ国が米州における平和地帯の構築を希望している現在、当然の措置です。各種の世論調査では、米国民の70%近くがキューバとの国交回復を希望しています。オバマ大統領、ケリー国務長官とも、米国のキューバ孤立化政策は、むしろ米国を米州の国際社会から孤立させるものとなっていたと認めたことは、歴史を直視する真摯な態度です。

両国の関係改善には、フランシスコ法王、カナダ政府の仲介があり、米国、キューバ政府とも仲介の努力に感謝しています。

信頼醸成の第一歩として、米国政府は、1998年以来拘束しているキューバの諜報員3名、ヘラルド・エルナンデス、ラモン・ラバニーニョ、アントニオ・グレーロの釈放を、またキューバ政府

は、2009年から拘束している米国の諜報員アラン・グロス及び20年余拘束されているキューバ人二重諜報員を釈放しました。



釈放された3人とカストロ議長（左）と釈放されたアラン・グロス氏（右）

米国政府は、キューバをテロ支援国家リストから除外する方針を発表しました。キューバが、現在、米国への軍事的脅威でもなく、テロ支援国家でないことは、米国内でも、国際社会でも広く一致して認められているだけに、これも当然の措置といえます。

しかし、1962年以來継続されている米国政府の対キューバ経済・通商・金融禁輸措置については、米政府は、キューバへの渡航制限の一層の緩和、キューバへの送金制限の緩和、米国民のクレジットカードのキューバでの使用の許可、米国金融機関のキューバ金融機関内での口座の開設、農産物・医薬品に加えて住宅建設資材、小農用の農機具などの新たな輸出品目の許可、キューバへの輸出決済条件の前金条件から、受け渡し時現金の許可への緩和、インターネット通信機器、ソフトの輸出の緩和などを新たに決めました。

米国の対キューバ禁輸措置は、国連総会でも1992年以來23年連続して圧倒的多数で解除が決議されていますが（今年は賛成188カ国、反対2カ国、棄権3カ国）、その解除の決定権は、米国大統領の権限ではなく議会にあるので、オバマ大統領は議会に解除を働きかけると述べています。禁輸措置の早期の解除も米国民の60%近くが支持していることで、早期の解決が望まれます。



Voting Result:	
Yes	188
No	2
Abstain	3

外交面での今後の米玖関係関係については、2015年4月 **今年の国連総会決議** パナマで開催される第7回米州首脳会議に初めてキューバも正式に招待され、出席を受諾しており、オバマ大統領は米国もキューバが出席するこの会議に出席することを確認しました。1994年から開催されている米州首脳会議には、これまで米国の反対でキューバは招待されていませんでしたが、前回2012年の第6回首脳会議で、ベネズエラ、ボリビア、エクアドル、ニカラグアなどの諸国が、キューバが参加しない米州首脳会議には今後参加しないと述べていました。12月にはホスト国のパナマがキューバの招待を決め、米国の態度が注目されていました。米州の35カ国が一堂に会して議論する場ができたこととなります。

今後は、例年、年初に米国とキューバ間で行われている定例の会議で、両国は移民、麻薬、環境保持、人身売買などの共通の課題を討議するとともに、1月には米国はロベルタ・ヤコブソン国務省西半球問題担当副次官補をキューバに派遣し、国交回復交渉を行うと述べ、ケリー国務長官のキューバ訪問も予定されています。すでにワシントンとハバナには1977年に開設された両国の利益代表部がありますが、数か月以内に大使館が開設される見通しです。

来年1月から国交回復の交渉が開始しますが、良好な両国の関係の確立のためには、①双方の領土保全・主権の相互尊重、②相互不侵略、③双方の国内問題への相互不干渉、④平等および互惠、⑤平和共存、という平和共存五原則にもとづいた関係の改善が望まれます。とくに、米国政府は、キューバ国内の「民主化勢力」への支援を継続することを表明していますが、これは、国際法、国連憲章に違反する行為で、キューバの未来はキューバ国民が決定することを正当に認め、厳に慎まなければなりません。

さらに、国交回復後、真の両国の友好的な関係の確立のためには、1903年以來米国が使用

し、革命勝利後キューバ政府が返還を要求しているグアンタナモ米海軍基地のキューバへの無条件の返還が必要であることを、米国政府は率直に認めなければなりません。

米国とキューバの間に真の友好関係が確立し、米州大陸全体が一日も早く平和地帯となることが期待されています。

(2014年12月18日 新藤通弘)